

## データ集 2018

|          |       |    |
|----------|-------|----|
| 環境       | ..... | 1  |
| 安全       | ..... | 21 |
| 働きがい・多様性 | ..... | 28 |

# 環境

## 基本的な考え方

カネカグループは、「ESG 憲章」に基づき、製品の全ライフサイクルにおいて、それぞれの段階で地球環境の保護に取り組み、資源の保全、環境負荷の低減により、社会の持続的発展と豊かな社会の実現を目指しています。

この地球環境の保護に係る重要事項は、ESG 委員会で決定されますが、経営会議、工場経営会議などでも課題を共有し、議論を深めています。中期経営計画においても ESG 経営の一層の充実に向け、重要事項の取り組み強化に努めます。

## マテリアルバランス

カネカグループの 2017 年度エネルギー・資源の投入と各種物質の排出・製品化の状況を一覧でまとめています。

### INPUT（エネルギー・資源の投入）

凡例（上から順に）  
 カネカ  
 国内グループ会社  
 海外グループ会社

| 主原材料（※1）    |
|-------------|
| 1,160 千トン/年 |
| 254 千トン/年   |
| 395 千トン/年   |

| エネルギー<br>（原油換算） |
|-----------------|
| 430 千 kL/年      |
| 79 千 kL/年       |
| 154 千 kL/年      |

| 水                         |
|---------------------------|
| 22.0 百万 m <sup>3</sup> /年 |
| 3.8 百万 m <sup>3</sup> /年  |
| 7.7 百万 m <sup>3</sup> /年  |

**カネカ**  
 国内グループ会社  
 45社  
 海外グループ会社  
 15社

### OUTPUT（各種物質の排出・製品化）

■ 製品（※2） ■ 大気へ ■ 水域へ ■ 廃棄物

| 製品                                      | CO <sub>2</sub>   | SO <sub>x</sub>                    |
|---|---|------------------------------------|
| 1,529 千トン/年<br>238 千トン/年<br>315 千トン/年   | 1,086 千トンCO <sub>2</sub> /年<br>169 千トンCO <sub>2</sub> /年<br>287 千トンCO <sub>2</sub> /年 | 73.2 トン/年<br>29.2 トン/年<br>0.7 トン/年 |
| NO <sub>x</sub>                         | ばいじん  | PRTR法対象物質                          |
| 869.9 トン/年<br>49.6 トン/年<br>68.9 トン/年    | 23.7 トン/年<br>1.0 トン/年<br>2.9 トン/年   | 60.8 トン/年<br>90.0 トン/年<br>—        |
| COD（※3）                                 | SS（※4）  | PRTR法対象物質                          |
| 257.0 トン/年<br>7.1 トン/年<br>99.2 トン/年     | 150.1 トン/年<br>6.7 トン/年<br>28.2 トン/年   | 17.7 トン/年<br>0.0 トン/年<br>—         |
| 窒素                                      | リン  |                                    |
| 154.0 トン/年<br>1.4 トン/年<br>1.1 トン/年      | 5.0 トン/年<br>0.2 トン/年<br>1.1 トン/年  |                                    |
| 外部再資源化量                                 | 外部減量化量  | 最終埋立処分量                            |
| 37,410 トン/年<br>7,490 トン/年<br>5,486 トン/年 | 1,150 トン/年<br>6,641 トン/年<br>3,702 トン/年  | 0.9 トン/年<br>806 トン/年<br>5,231 トン/年 |

※1 主原材料：トン数で表した主原材料の量

※2 製品：トン数で表した製品の量

※3 COD：化学的酸素要求量

※4 SS：浮遊物質

## 環境会計

カネカは、環境保全コスト（投資額、費用額）および環境保全効果（物量単位）と環境保全対策に伴う経済効果（貨幣単位）について、カネカ全工場と国内グループ会社（生産会社）を合わせた連結ベースで集計しています。

### 環境会計集計結果

#### ■ 環境保全コスト（投資額・費用額）

（単位：百万円）

| 分類             | 主な取り組み内容                 | 2015年度 |        | 2016年度 |        | 2017年度 |        |
|----------------|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                |                          | 投資額    | 費用額    | 投資額    | 費用額    | 投資額    | 費用額    |
| 事業エリア内コスト      |                          | 1,054  | 5,175  | 1,046  | 4,884  | 1,177  | 5,036  |
| ①公害防止コスト       | 大気、水質の<br>公害防止対策         | 939    | 3,266  | 1,011  | 3,150  | 1,130  | 3,236  |
| ②地球環境保全<br>コスト | 温暖化防止（省エネ）<br>対策等        | -      | -      | -      | -      | -      | -      |
| ③資源循環コスト       | 廃棄物の処理、<br>リサイクル、減量化     | 115    | 1,909  | 35     | 1,734  | 47     | 1,800  |
| 上・下流コスト        | 製品等のリサイクル<br>・回収・処理      | 1      | 10     | 0      | 8      | 0      | 8      |
| 管理活動コスト        | 社員への環境教育、<br>環境負荷の監視・測定等 | 5      | 388    | 0      | 457    | 10     | 412    |
| 研究開発コスト        | 環境保全に資する<br>製品の研究・開発等    | 0      | 6,680  | 0      | 6,728  | 0      | 7,203  |
| 社会活動コスト        | 緑化、景観保護活動、<br>環境情報公開等    | 0      | 93     | 0      | 72     | 2      | 82     |
| 環境損傷コスト        | 環境保全の賦課金<br>(SOx 賦課金)    | 0      | 10     | 0      | 8      | 0      | 10     |
| 合計             |                          | 1,060  | 12,356 | 1,046  | 12,157 | 1,188  | 12,752 |

集計方法：環境省「環境会計ガイドライン 2005年版」他に基づき、一部カネカ独自の考え方を加えて集計。

（注）研究開発コスト投資額、地球環境保全コスト費用額は、集計対象に含めていません。

合計は四捨五入の関係で合致しない箇所があります。

■ 環境保全効果（物量単位）

| 分類   | 内容            | 項目              | 単位                     | 2015 年度  | 2016 年度  | 2017 年度  |
|------|---------------|-----------------|------------------------|----------|----------|----------|
| 公害防止 | 大気・水質汚染物質の排出量 | SOx             | トン                     | 110.6    | 131.0    | 102.4    |
|      |               | NOx             | トン                     | 882.5    | 924.6    | 919.5    |
|      |               | COD             | トン                     | 268.9    | 275.4    | 264.1    |
|      |               | PRTR 排出量        | トン                     | 148.5    | 160.3    | 168.5    |
| 地球環境 | 温室効果ガス排出量     | CO <sub>2</sub> | 千トン<br>CO <sub>2</sub> | 1,259.0  | 1,228.0  | 1,255.0  |
|      | エネルギー使用量      | 原油換算            | 千 KL                   | 491.0    | 489.0    | 509.0    |
| 資源循環 | 最終埋立処分量       | 埋立量             | トン                     | 48.9     | 252.0    | 806.9    |
|      | 外部リサイクル推進     | 再資源化量           | トン                     | 47,962.0 | 43,633.0 | 44,900.0 |

※集計範囲について

2015 年度は、カネカおよび国内グループ会社の工場部門施設以外は含みません。

2016 年度・2017 年度は、カネカおよび国内グループ会社の工場部門施設以外が含まれています。

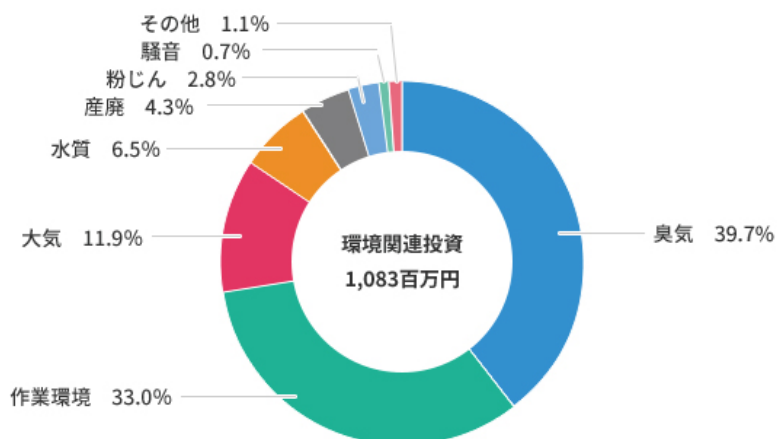
■ 環境保全対策に伴う経済効果（貨幣単位）

（単位：百万円）

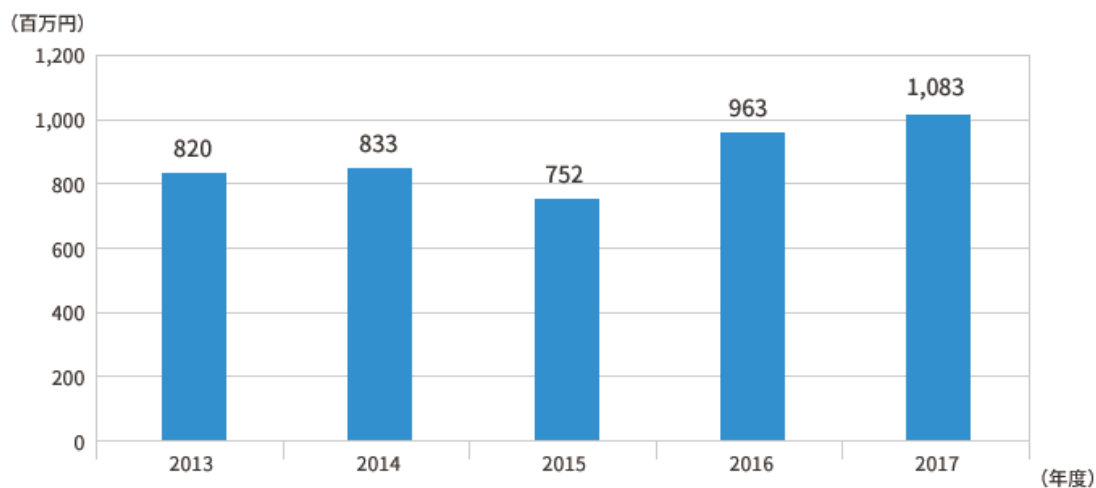
| 内容                  | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 |
|---------------------|---------|---------|---------|
| リサイクル等により得られた収入額    | 249     | 130     | 258     |
| 省資源・原単位向上による費用の削減   | 345     | △297    | 4       |
| リサイクル等に伴う廃棄物処理費用の削減 | 157     | 489     | 327     |
| 省エネルギー等による費用の削減     | 631     | 123     | 177     |
| 合計                  | 1,382   | 445     | 766     |

## 環境関連投資の実績・推移（カネカ）

### ■ 2017 年度 環境関連投資の内訳

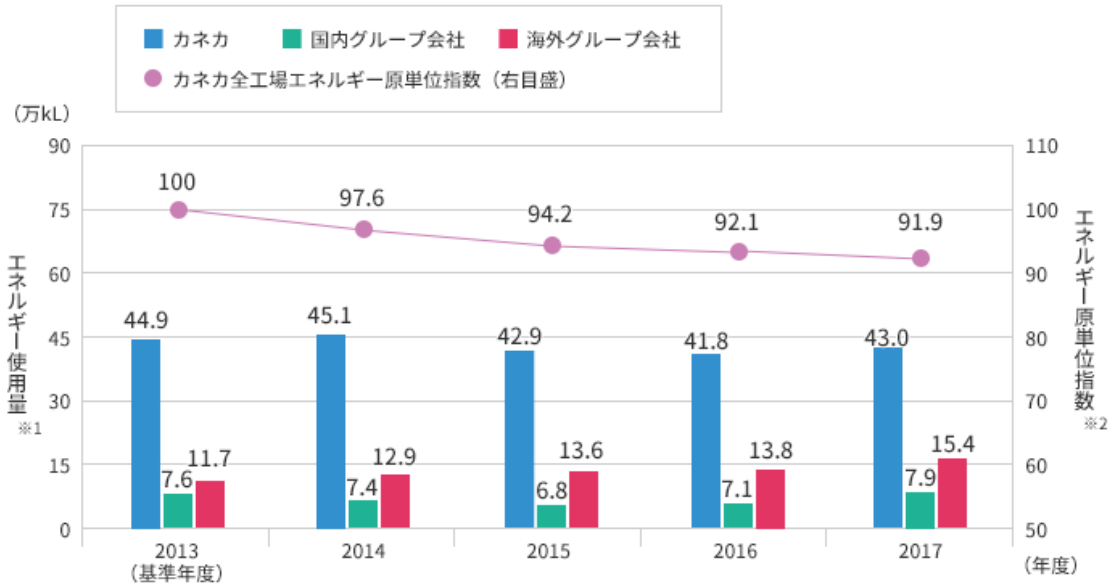


### ■ 環境関連投資額推移



省エネルギー活動

■ エネルギー使用量（原油換算）・エネルギー原単位指数

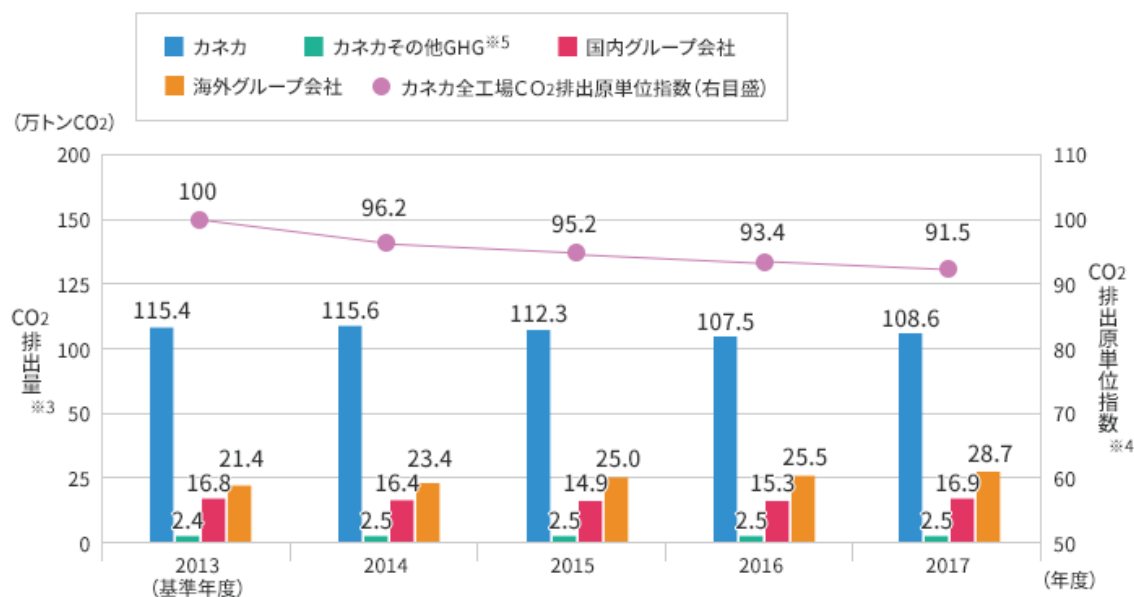


※1 エネルギー使用量は、省エネ法および一般社団法人 日本化学工業協会の低炭素社会実行計画のバウンダリーに統一し、工場部門以外の施設も加えたカナカの合計値です。

※2 エネルギー原単位指数：製造に用いたカナカ全工場のエネルギー使用量を活動量で除して求めたエネルギー原単位を、2013 年度を 100 として指数化した数値です。活動量とはカナカ全工場の生産量を表す指標です。エネルギー使用量の算定は省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）に基づく方法です。

## CO<sub>2</sub>排出原単位低減活動

### ■エネルギー使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量・CO<sub>2</sub>排出原単位指数



※3 CO<sub>2</sub>排出量は温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）に基づき算定しており、エネルギー同様カナカの合計値です。

※4 CO<sub>2</sub>排出原単位指数：生産活動に伴い排出したエネルギー起源CO<sub>2</sub>量は、排出係数を固定使用（カナカ独自）して算定し、活動量で除して求めたCO<sub>2</sub>排出原単位を、2013年度を100として指数化した数値です。カナカの活動による影響を見やすくし、これを用いて2020年度目標を設定しています。

※5 カナカその他GHG：エネルギー起源以外の温室効果ガス（GHG：非エネルギー起源CO<sub>2</sub>、メタン、一酸化二窒素）のカナカの排出量で温対法に基づき算定しています。

## サプライチェーンでの事業活動に伴うCO<sub>2</sub>排出量

### ■スコープ別GHG排出量（カナカ 2017年度実績）

| スコープ     |                 | GHG 排出量<br>[千トン CO <sub>2</sub> e/年] |
|----------|-----------------|--------------------------------------|
| スコープ1    | 直接排出（※6）        | 808.9                                |
| スコープ2    | エネルギー起源の間接排出    | 302.0                                |
| スコープ3    | その他の間接排出（上流・下流） | 2,130.2                              |
| GHG 排出量計 |                 | 3,241.0                              |

※6 非エネルギー起源CO<sub>2</sub>およびメタンと一酸化二窒素のCO<sub>2</sub>換算値を含みます。

■ スコープ3 排出量（カネカ 2017 年度実績）

| カテゴリ     |                                | GHG 排出量<br>[千トン CO <sub>2</sub> e/年] |
|----------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1        | 購入した製品・サービス                    | 1,489.8                              |
| 2        | 資本財                            | 78.7                                 |
| 3        | スコープ 1、2 に含まれない燃料およびエネルギー関連の活動 | 92.4                                 |
| 4        | 上流の輸送・流通                       | 26.3                                 |
| 5        | 事業から発生する廃棄物                    | 2.3                                  |
| 6        | 出張                             | 4.3                                  |
| 7        | 社員の通勤                          | 0.8                                  |
| 8        | 上流のリース資産                       | 0.0                                  |
| 9        | 下流の輸送・流通                       | - (※7)                               |
| 10       | 販売した製品の加工                      | - (※7)                               |
| 13       | 下流のリース資産                       | 0.0                                  |
| 14       | フランチャイズ                        | - (※8)                               |
| 15       | 投資                             | 435.6                                |
| スコープ 3 計 |                                | 2,130.2                              |

【算定方法】環境省「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver2.3）」、環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.2.5）」に基づき算定しました。カテゴリ 11「販売した製品の使用」、カテゴリ 12「販売した製品の廃棄」は算定方法を検討中です。

※7 中間製品の割合が高く合理的方法で算定困難なため対象外です。

※8 フランチャイズ店舗を保有していないため対象外です。

省エネルギー設備投資の促進

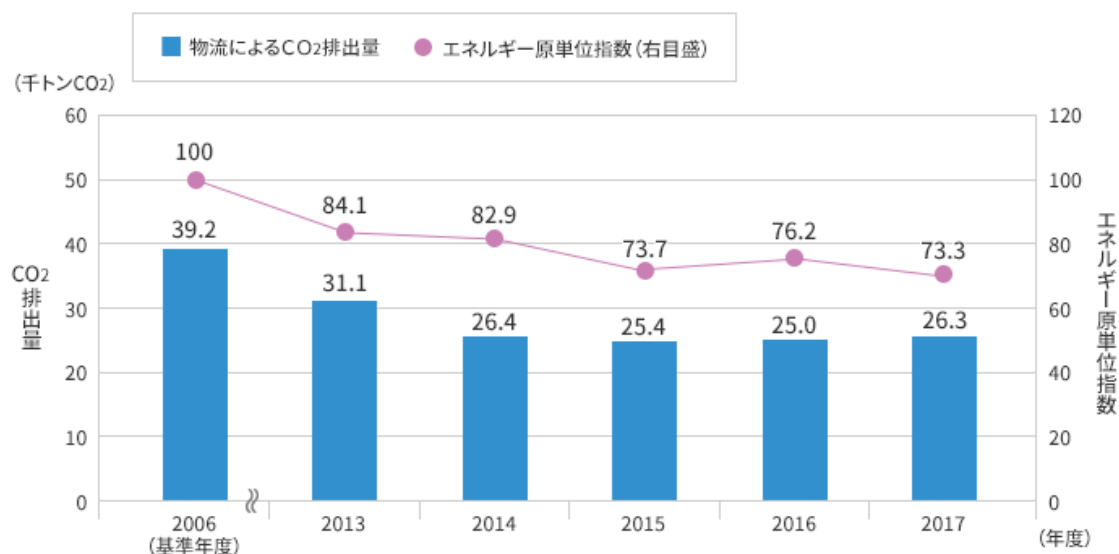
■ 環境設備投資促進制度実績

| 年度   | 投資額  | 件数   | CO <sub>2</sub> 削減量         |
|------|------|------|-----------------------------|
| 2013 | 2 億円 | 29 件 | 1,993 トン CO <sub>2</sub> /年 |
| 2014 | 2 億円 | 37 件 | 1,644 トン CO <sub>2</sub> /年 |
| 2015 | 2 億円 | 22 件 | 1,435 トン CO <sub>2</sub> /年 |
| 2016 | 2 億円 | 23 件 | 1,688 トン CO <sub>2</sub> /年 |
| 2017 | 2 億円 | 15 件 | 1,654 トン CO <sub>2</sub> /年 |



## 物流部門の省エネルギーの取り組み

### ■ 物流によるCO<sub>2</sub>排出量・エネルギー原単位指数



物流によるエネルギー原単位指数は、2006年度のエネルギー原単位を100としたときの数値を表示。

### 「フロン排出抑制法」への対応

2017年度のカネカのフロン類算定漏えい量は、老朽化機器の更新と機器の管理強化を進めた結果、前年度に対して11,237トンCO<sub>2</sub>減少し、2,310トンCO<sub>2</sub>でした。特に、鹿島工場での大型冷凍機の更新がフロン類漏えい量の削減に寄与しました。

一方、国内グループ会社において、冷凍機からのフロン類漏えいがあり、1,000トンCO<sub>2</sub>を超える1,542トンCO<sub>2</sub>の漏えいがありました。

引き続き、温室効果のあるフロン類漏えい量の削減のため、機器点検の徹底によるフロン類漏えいの早期発見と対策、機器更新に際しては、GWP（※9）の低い機器の選定やノンフロン化を計画的に進めていきます。

※9 GWPとは、地球温暖化係数（Global Warming Potential）であり、二酸化炭素を基準にして、他の温室効果ガスがどれだけ温暖化する能力があるか表した数字のことです。

環境マネジメントシステム

■ カネカおよびグループ会社の ISO140001 認証取得状況

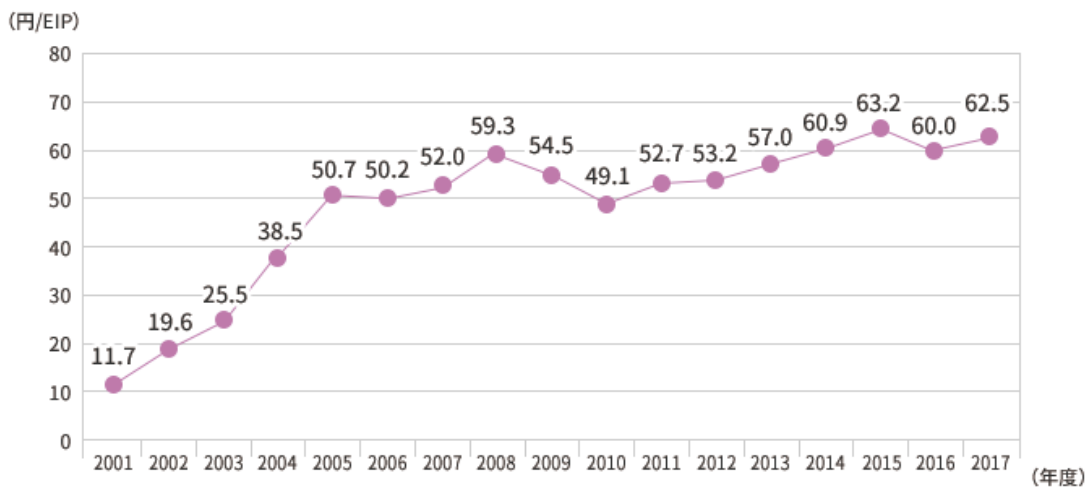
| 事業所・グループ会社                | 登録証番号       |
|---------------------------|-------------|
| 滋賀工場                      | YKA4004950  |
| 大阪工場                      | JCQA-E-0053 |
| 鹿島工場                      | JCQA-E-0054 |
| 高砂工業所                     | JCQA-E-0105 |
| 栃木カネカ（株）                  | YKA4004384  |
| （株）大阪合成有機化学研究所            | JCQA-E-0343 |
| 龍田化学（株）古河工場               | 3571208     |
| 昭和化成工業（株）羽生本社・工場          | E0062       |
| セメダイン（株）茨城事業所             | JCQA-E-0366 |
| セメダイン（株）三重工場              | JCQA-E-0176 |
| セメダイン（株）衣浦工場              | 497791UM    |
| （株）ヴィーネックス                | JSAE1511    |
| カネカソーラーテック（株）             | JQA-EM6704  |
| サンピック（株）                  | JMAQA-E841  |
| カネカベルギー-N.V.              | 97 EMS 002e |
| カネカマレーシア Sdn. Bhd.        | ER0523      |
| カネカペーストポリマー Sdn. Bhd.     | ER0523      |
| カネカエペラン Sdn. Bhd.         | ER0523      |
| カネカイノベティブファイバース Sdn. Bhd. | ER0523      |
| カネカアピカルマレーシア Sdn. Bhd.    | ER0916      |

■ エコアクション 2 1 認証取得状況

| グループ会社名                           | 認証・登録番号 |
|-----------------------------------|---------|
| 九州カネライト（株）                        | 0001637 |
| カネカ北海道スチロール（株）                    | 0001805 |
| （株）カネカメディックス                      | 0001893 |
| 北海道カネライト（株）                       | 0001905 |
| カネカ東北スチロール（株）                     | 0010773 |
| 長島食品（株）                           | 0003093 |
| カネカフォームプラスチック（株） 真岡工場             | 0003247 |
| カネカ中部スチロール（株）                     | 0006600 |
| （株）東京カネカフード                       | 0003473 |
| 太陽油脂（株）                           | 0003575 |
| （株）カネカフード                         | 0003491 |
| （株）カネカサンスライス                      | 0003556 |
| カネカ西日本スチロール（株） 本社・佐賀工場、鹿児島工場、長崎工場 | 0003949 |
| 関東スチレン（株）                         | 0004035 |
| カネカ関東スチロール（株）                     | 0004259 |
| OLED 青森（株）                        | 0010329 |
| 高知スチロール（株）                        | 0011039 |

## 環境効率（カネカ）

### ■ 環境効率

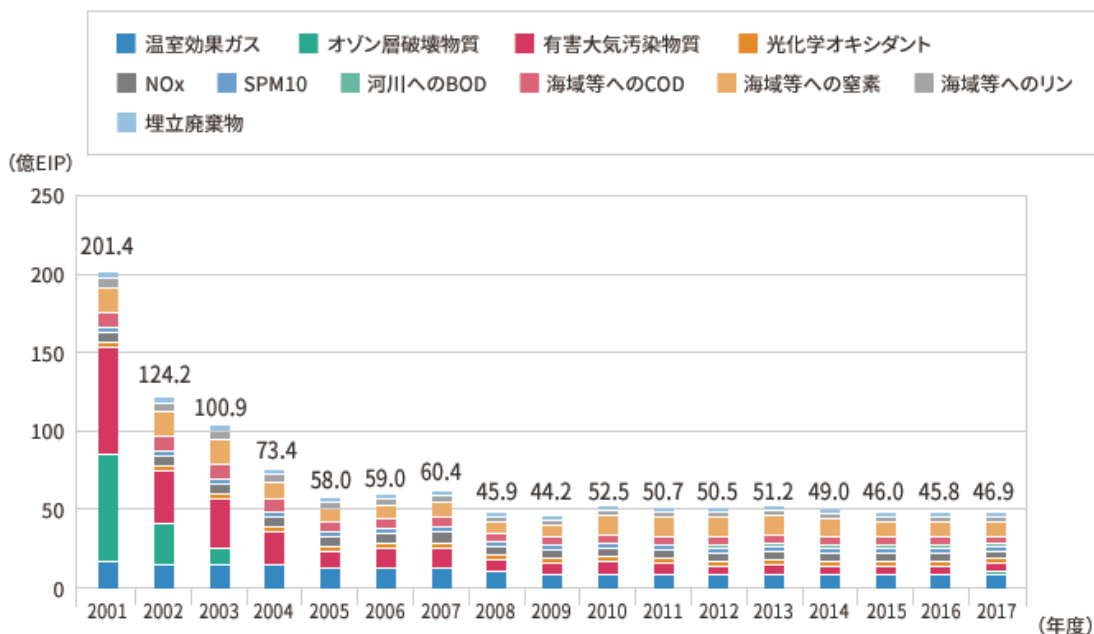


生産活動に伴って発生する環境負荷を JEPPIX（※1）の手法で統合した環境影響ポイント（EIP）で評価し、それを用いた環境効率（※2）の評価を行っています。

※1 JEPPIX（環境政策優先度指数日本版）：日本の環境政策等が目標とする年間排出量と実際の年間排出量との比率（目標までの距離）から、環境負荷物質ごとに「エコファクター」という係数を算定し、エコファクターに種々の環境負荷を乗じて「環境影響ポイント（EIP）」という単一指標に統合化する手法で、「エコファクター」は JEPPIX プロジェクトが算出しています。（<http://www.jepix.org/>）

※2 環境効率：持続的成長を目指し、「環境影響を最小化しつつ価値を最大化する」取り組みを測る物差しで、カネカでは売上高（円） / 総環境負荷量（EIP）で算出しています。

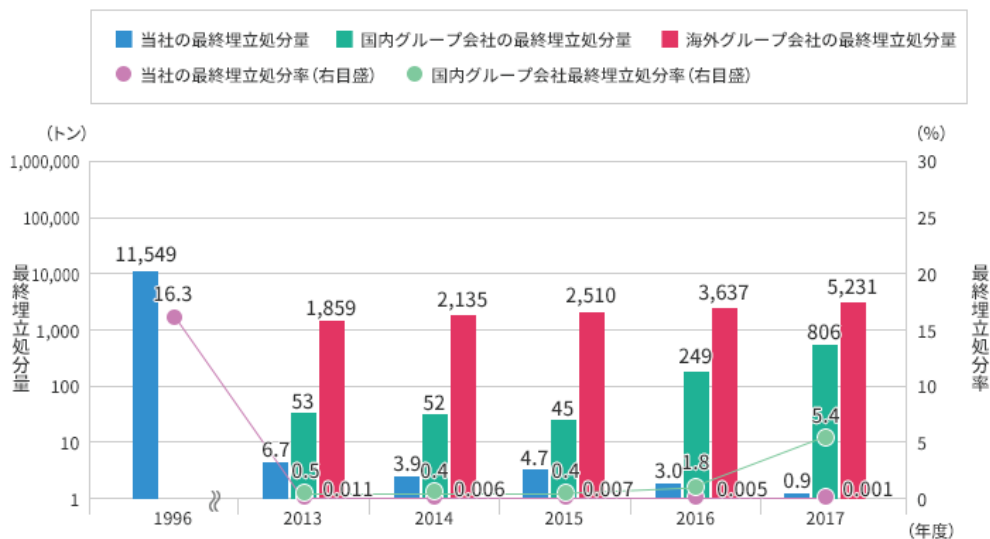
### ■ 総環境負荷量（EIP）の内訳



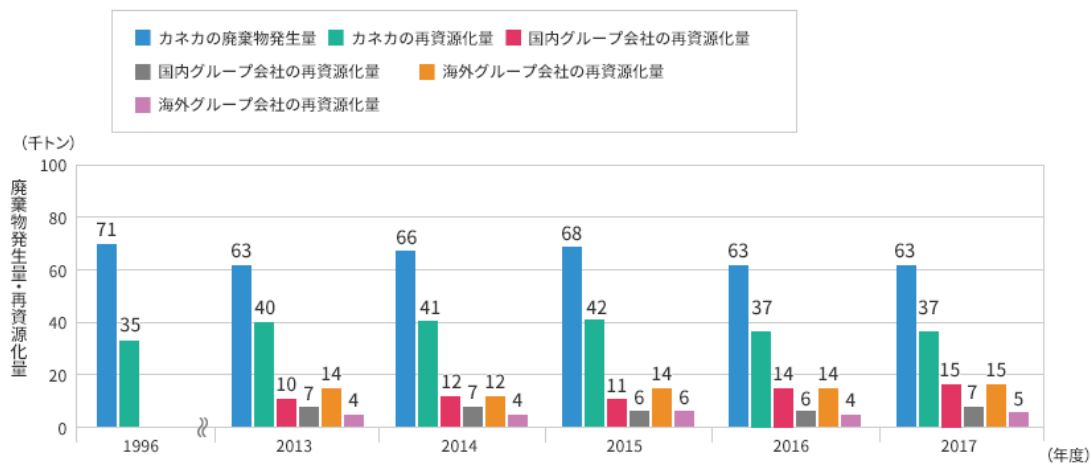
## 廃棄物処理削減と汚染防止

### 産業廃棄物の最終埋立処分量削減

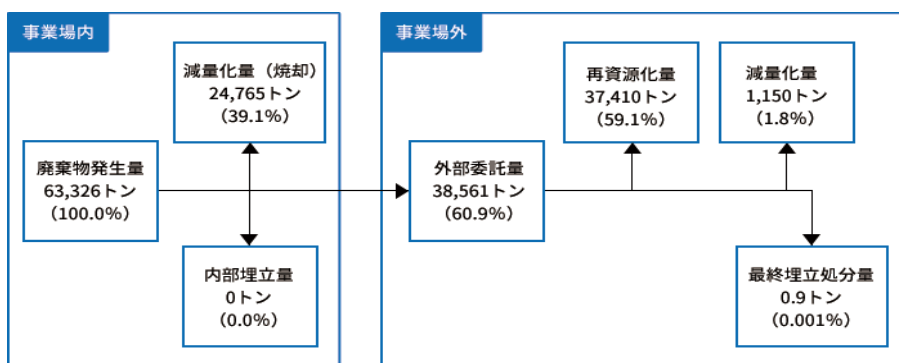
#### ■ 最終埋立処分量・埋立率



#### ■ 廃棄物発生量・再資源化量

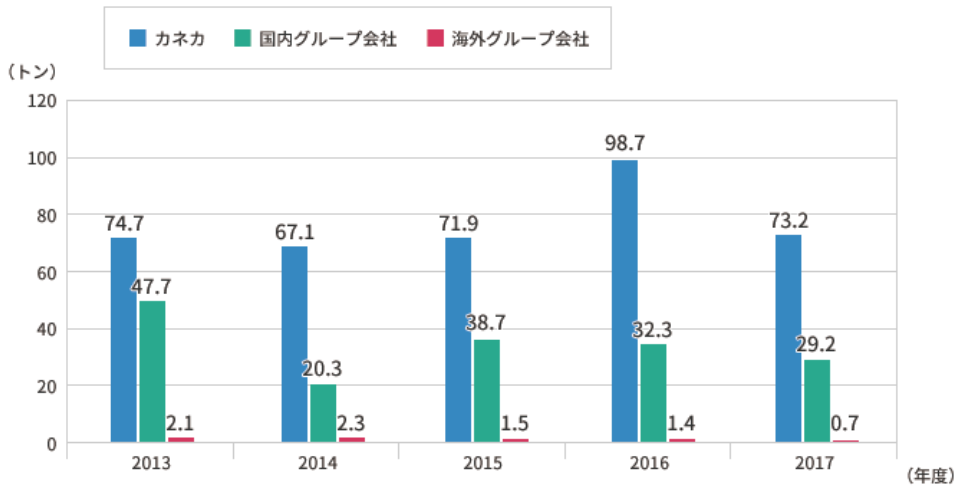


#### ■ カネカの廃棄物とその処分方法の内訳

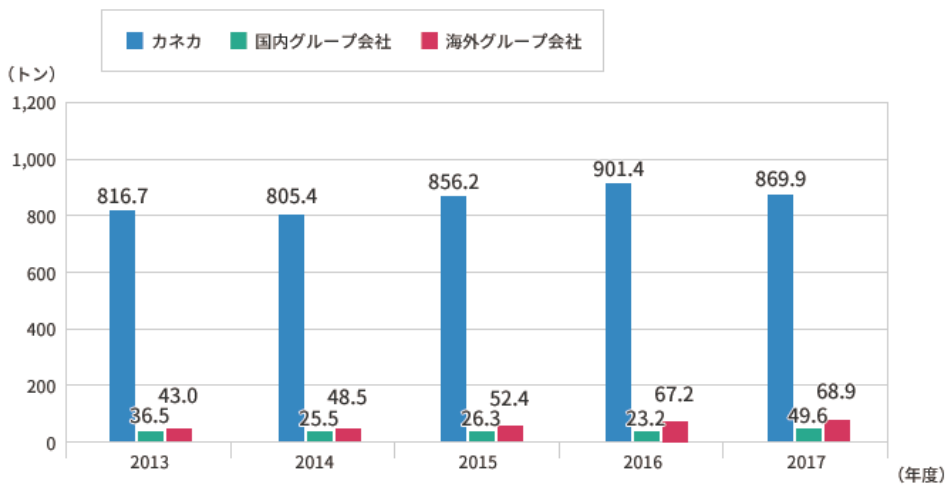


## 大気汚染防止と水質汚濁防止

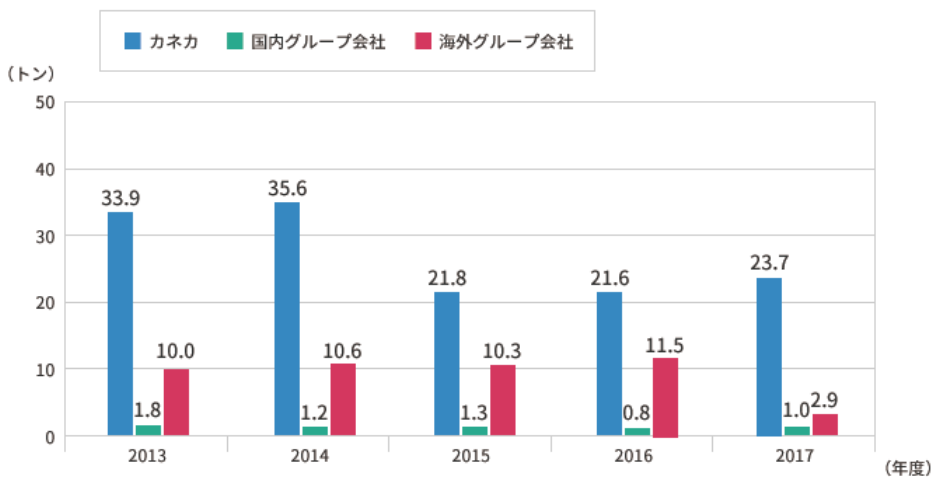
### ■ SOx 排出量



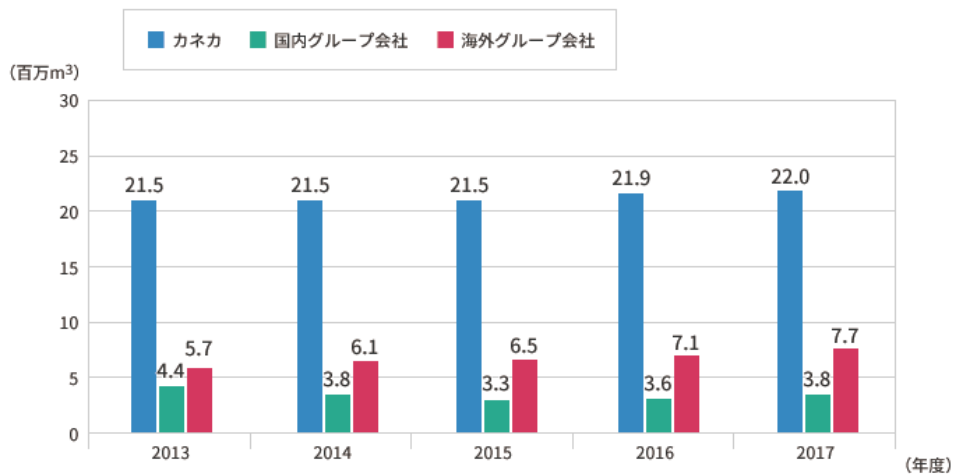
### ■ NOx 排出量



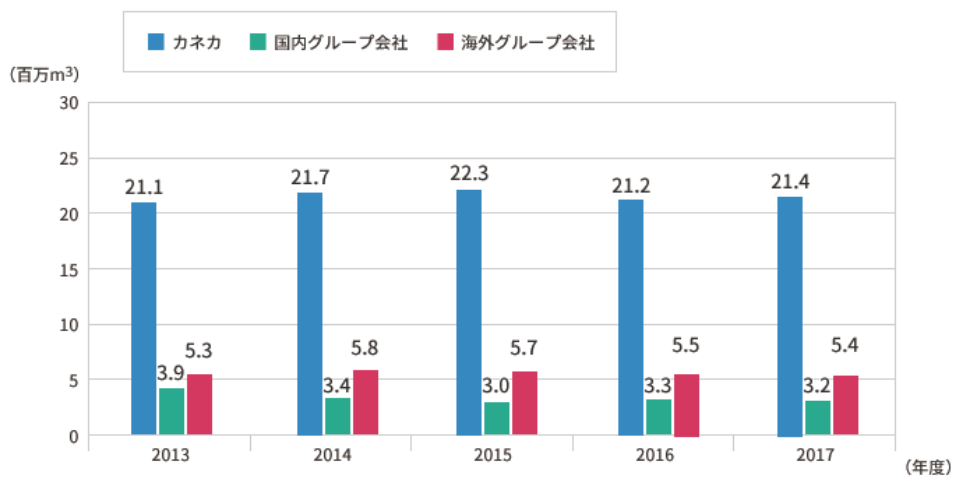
### ■ ばいじん排出量



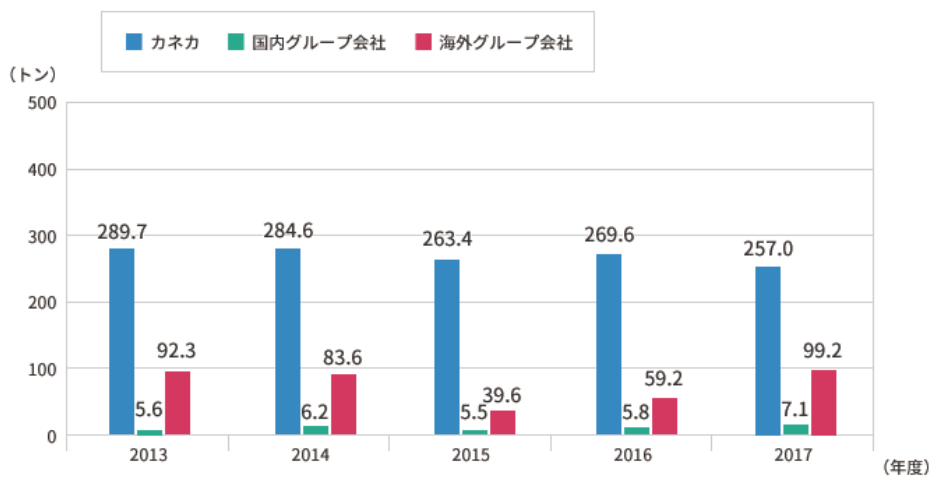
■ 水使用量 (※1)



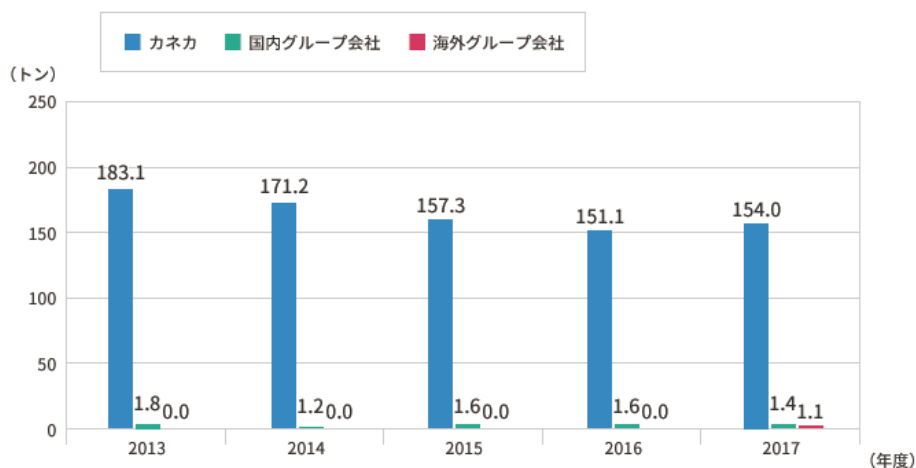
■ 排水量 (※1)



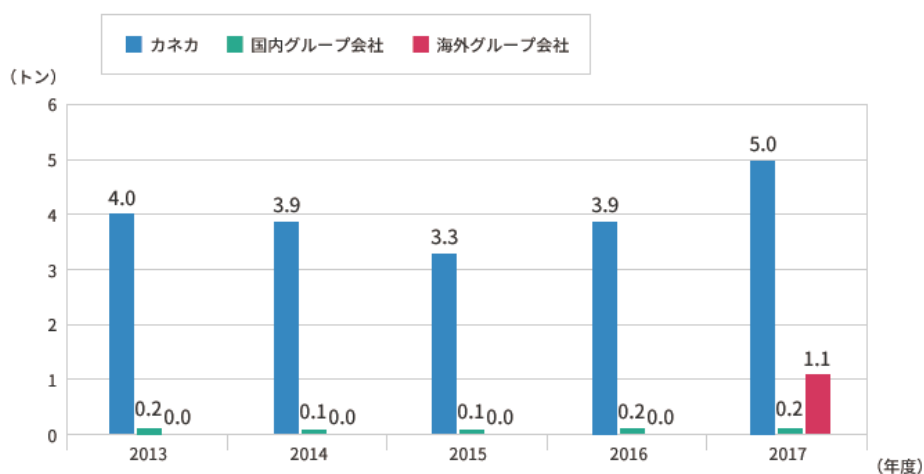
■ 排水中の COD (化学的酸素要求量) (※1)



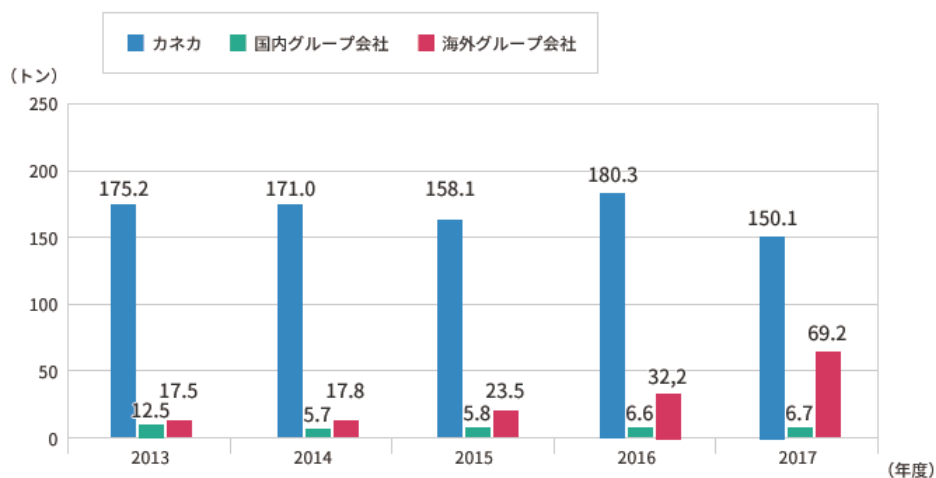
### ■排水中の窒素量（※1）



### ■排水中のリン量（※1）



### ■排水中のSS量（※1）



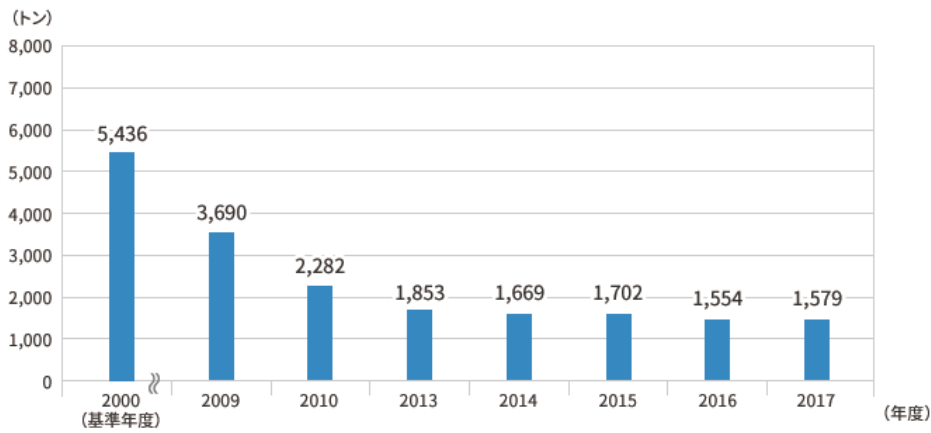
※1 2015 年度より工場部門以外の非製造施設も含まれます。



## 化学物質排出量削減

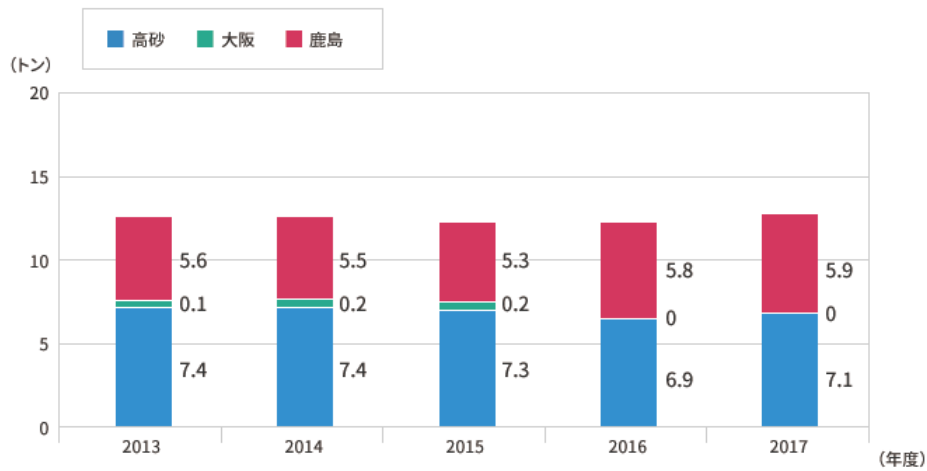
### VOC（揮発性有機化合物）排出削減

#### ■ VOC排出削減の実績（カネカ全工場）

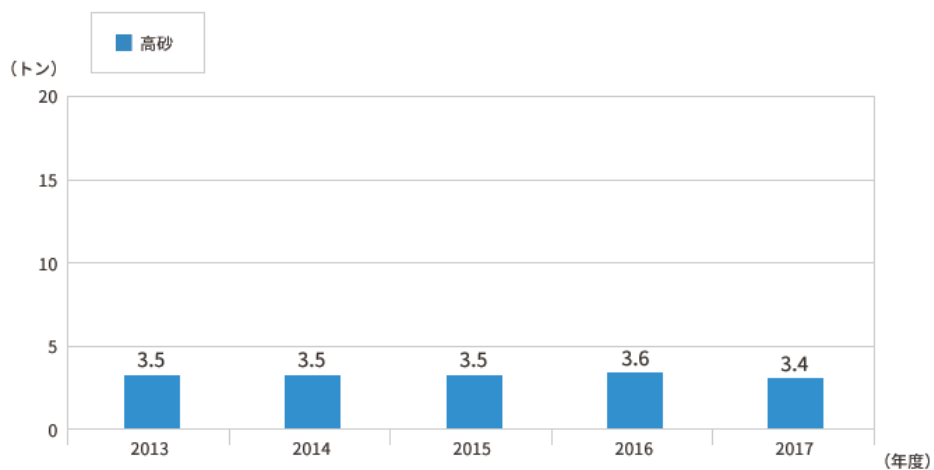


### 有害大気汚染物質（カネカ工場別6物質のデータ）

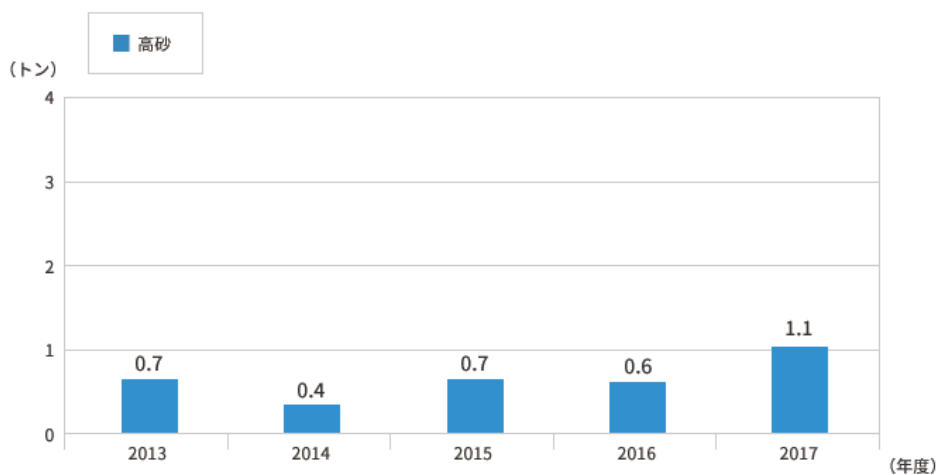
#### ■ クロロエチレン排出量



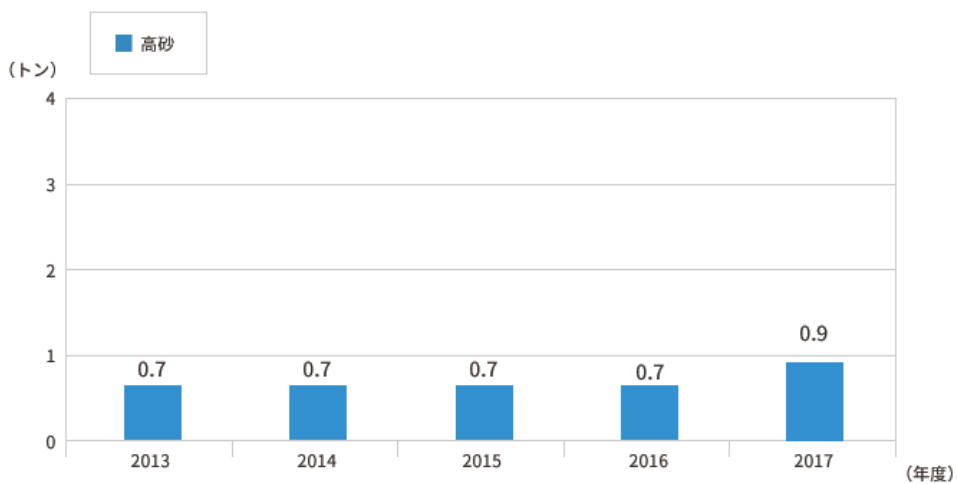
### ■ 1.2-ジクロロエタン排出量



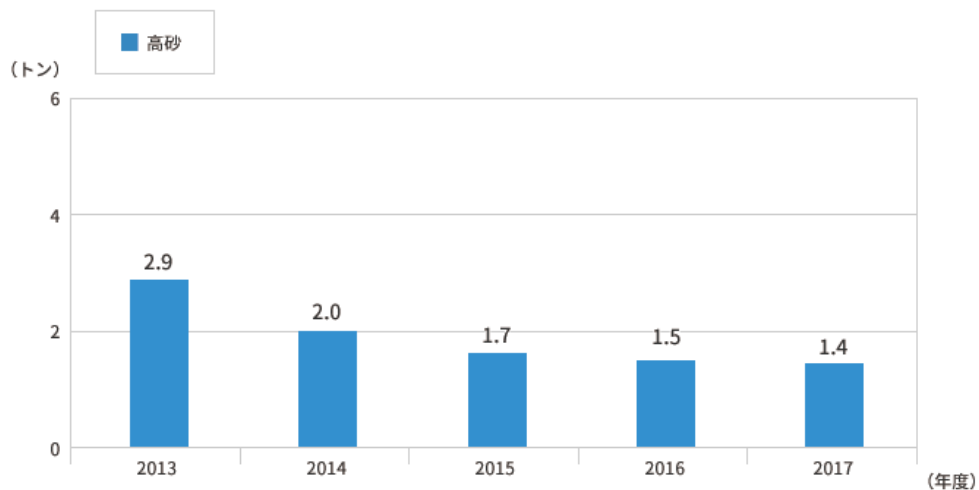
### ■ クロホルム排出量



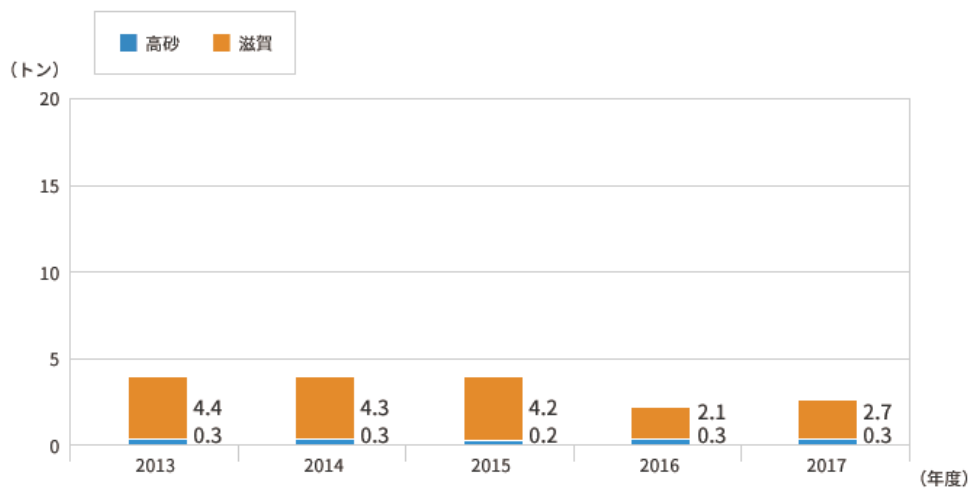
### ■ アクリロニトリル排出量



■ 1.3-ブタジエン排出量



■ ジクロロメタン排出量



P R T R法対象物質

■カネカのP R T R法対象化学物質の排出量・移動量（2017年度）

（単位：kg）

|  | 改正<br>政令<br>指定<br>番号 | 化学物質の名称                    | 2017年度     |                   |                             |                           |        | 2016年度  |        |
|--|----------------------|----------------------------|------------|-------------------|-----------------------------|---------------------------|--------|---------|--------|
|  |                      |                            | 排出量        |                   |                             |                           | 移動量    | 排出量     |        |
|  |                      |                            | 大気への<br>排出 | 公共用水<br>域への排<br>出 | 当該事業<br>所におけ<br>る土壌へ<br>の排出 | 当該事業<br>所におけ<br>る埋立処<br>分 | 合計     | 合計      | 合計     |
| 排<br>出<br>量<br>の<br>多<br>い<br>10<br>物<br>質 | 392                  | ノルマル-ヘキサン                  | 13,400     | 0                 | 0                           | 0                         | 13,400 | 133,235 | 13,200 |
|  | 94                   | クロロエチレン<br>（別名：塩化ビニ<br>ル）  | 12,900     | 110               | 0                           | 0                         | 13,010 | 960     | 12,810 |
|  | 275                  | ドデシル硫酸<br>ナトリウム            | 0          | 8,400             | 0                           | 0                         | 8,400  | 0       | 8,500  |
|  | 240                  | スチレン                       | 5,490      | 42                | 0                           | 0                         | 5,532  | 5,180   | 5,810  |
|  | 420                  | メタクリル酸メチル                  | 5,400      | 3                 | 0                           | 0                         | 5,403  | 8       | 5,003  |
|  | 232                  | N,N-ジメチル<br>ホルムアミド         | 3,100      | 1,200             | 0                           | 0                         | 4,300  | 340,000 | 2,830  |
|  | 134                  | 酢酸ビニル                      | 3,900      | 160               | 0                           | 0                         | 4,060  | 0       | 4,013  |
|  | 7                    | アクリル酸<br>ノルマル-ブチル          | 3,950      | 0                 | 0                           | 0                         | 3,950  | 3,330   | 4,170  |
|  | 157                  | 1,2-ジクロロエタン                | 3,400      | 30                | 0                           | 0                         | 3,430  | 0       | 3,600  |
|  | 186                  | ジクロロメタン<br>（別名：塩化メチレ<br>ン） | 2,951      | 0                 | 0                           | 0                         | 2,951  | 57,730  | 2,352  |
| 上記10物質以外の小計                                |                      |                            | 7,853      | 7,736             | 0                           | 0                         | 15,590 | 35,286  | 14,270 |
| 全物質合計                                      |                      |                            | 62,344     | 17,682            | 0                           | 0                         | 80,026 | 575,729 | 76,558 |

（注）PRTR法届出対象の462物質のうち、カネカの届出対象物質数は58種類。

合計は四捨五入の関係で合致しない箇所があります。

■ 国内グループ会社のPRTR法対象化学物質の排出量・移動量（2017年度）

（単位：kg）

|  | 改正<br>政令<br>指定<br>番号 | 化学物質の名称                    | 2017年度     |                   |                             |                       |        | 2016年度  |        |
|--|----------------------|----------------------------|------------|-------------------|-----------------------------|-----------------------|--------|---------|--------|
|  |                      |                            | 排出量        |                   |                             |                       | 移動量    | 排出量     |        |
|  |                      |                            | 大気への<br>排出 | 公共用水<br>域への排<br>出 | 当該事業<br>所における<br>土壌への<br>排出 | 当該事業<br>所における<br>埋立処分 | 合計     | 合計      | 合計     |
| 排<br>出<br>量<br>の<br>多<br>い<br>10<br>物<br>質 | 232                  | N,N-ジメチル<br>ホルムアミド         | 47,020     | 0                 | 0                           | 0                     | 47,020 | 3,111   | 39,020 |
|  | 300                  | トルエン                       | 21,657     | 0                 | 0                           | 0                     | 21,657 | 379,667 | 22,354 |
|  | 186                  | ジクロロメタン<br>（別名：塩化メチレ<br>ン） | 9,663      | 0                 | 0                           | 0                     | 9,663  | 175,138 | 11,600 |
|  | 80                   | キシレン                       | 4,644      | 0                 | 0                           | 0                     | 4,644  | 0       | 4,400  |
|  | 213                  | N,N-ジメチル<br>アセトアミド         | 1,700      | 0                 | 0                           | 0                     | 1,700  | 83,000  | 1,600  |
|  | 392                  | ノルマル-ヘキサン                  | 1,700      | 0                 | 0                           | 0                     | 1,700  | 32,400  | 1,800  |
|  | 296                  | 1,2,4-トリメチル<br>ベンゼン        | 2,421      | 0                 | 0                           | 0                     | 2,421  | 0       | 0      |
|  | 56                   | エチレンオキシド                   | 616        | 0                 | 0                           | 0                     | 616    | 0       | 1,022  |
|  | 127                  | クロロホルム                     | 525        | 0                 | 0                           | 0                     | 525    | 7,225   | 568    |
|  | 355                  | フタル酸ビス<br>（2-エチルヘキシル）      | 57         | 48                | 0                           | 0                     | 105    | 475     | 110    |
| 上記 10 物質以外の小計                              |                      |                            | 0          | 0                 | 0                           | 0                     | 27,058 | 0       |        |
| 全物質合計                                      |                      |                            | 90,002     | 48                | 0                           | 0                     | 90,050 | 708,074 | 82,474 |

（注）PRTR 法届出対象の 462 物質のうち、国内グループ会社の届出対象物質数は 31 種類。

合計は四捨五入の関係で合致しない箇所があります。

## 労働安全衛生の取り組み

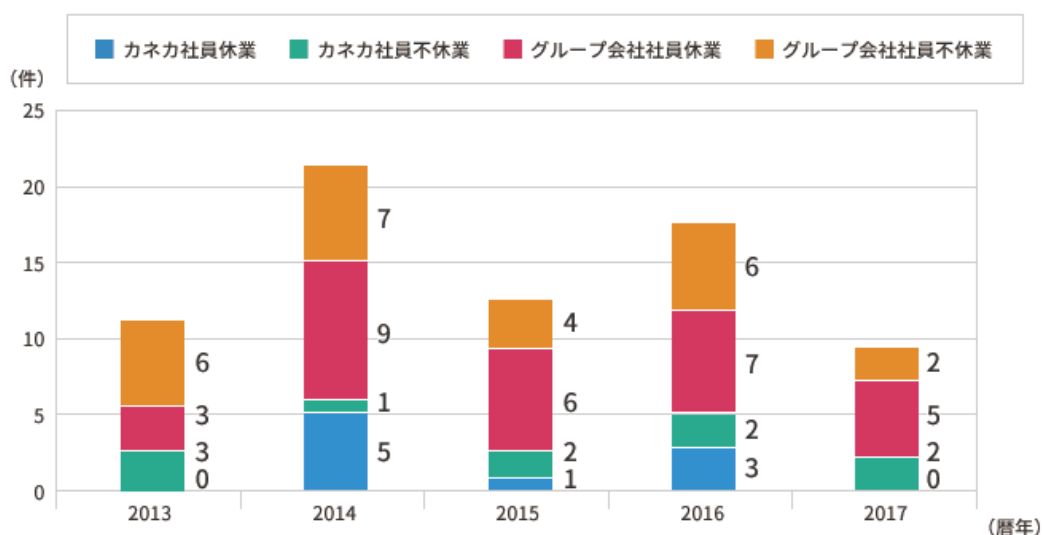
### ゼロ災行動指針

- |               |                    |           |
|---------------|--------------------|-----------|
| ◆君も私もかけがえのない人 | 誰一人ケガ人を出さないようにしよう  | [ゼロ災の決意]  |
| ◆安全はみんなで築くもの  | 一人ひとりが安全を考える時間をもとう | [安全への参加]  |
| ◆安全に妙手は無い     | 基本に立ち返り地道に努力しよう    | [安全は基本から] |
| ◆危険を予知しよう     | 潜在的危険を撲滅しよう        | [安全の先取り]  |
| ◆災害はすき間で起こる   | 漏れや、すき間が無いかを常に考えよう | [99%は 0%] |

### OSHMS 認定取得状況

| 事業場名  | 所在地 | 認定年月日       | 認定番号     |
|-------|-----|-------------|----------|
| 高砂工業所 | 兵庫県 | 2008年3月10日  | 08-28-13 |
| 大阪工場  | 大阪府 | 2007年8月21日  | 07-27-10 |
| 滋賀工場  | 滋賀県 | 2008年1月15日  | 08-25-6  |
| 鹿島工場  | 茨城県 | 2010年12月13日 | 10-8-26  |

### カナカ社員／グループ会社社員休業・不休業災害発生件数



■ カネカおよびグループ会社社員の災害度数率・強度率

| 部署  | カネカグループ全体 |       | カネカ   |       | 国内外グループ会社 |       |
|-----|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|
|     | 2016年     | 2017年 | 2016年 | 2017年 | 2016年     | 2017年 |
| 度数率 | 0.56      | 0.31  | 0.35  | 0     | 0.67      | 0.47  |
| 強度率 | 0.01      | 0.01  | 0.01  | 0     | 0.01      | 0.01  |

■ 社内安全表彰

| 社名             | 無災害期間（2017年度末現在）     |
|----------------|----------------------|
| カネカソーラーテック（株）  | 2013年11月16日～（4年4カ月）  |
| （株）カネカメディックス   | 2010年11月8日～（7年4カ月）   |
| 栃木カネカ（株）       | 2012年5月26日～（5年10カ月）  |
| 長島食品（株）        | 操業以来発生なし（25年）        |
| 関東スチレン（株）      | 2010年1月14日～（8年2カ月）   |
| カネカ中部スチロール（株）  | 2005年11月29日～（12年4カ月） |
| カネカ西日本スチロール（株） | 2010年12月10日～（7年3カ月）  |

安全に関する基本方針

- ◆ 安全の確保は、経営の基盤をなすものであり、あらゆる事業活動の基本である。
- ◆ 安全の確保は、地域社会や世界の信頼の基礎である。
- ◆ 安全の確保は、「すべての事故は防止できる」との信念に基づくものである。
- ◆ 安全の確保のためには、職務に応じてすべての社員に果たすべき責任がある。
- ◆ 安全は、絶えず守り続けなければならない。

■ 総合防災訓練

| 事業場名  | 実施年月日       | 参加者<br>(名) | 内容   |
|-------|-------------|------------|--|
| 高砂工業所 | 2017年12月15日 | 2,237      | 地震発生により、危険物が漏えいし火災が発生したことを想定した消火訓練を高砂市消防本部と合同で実施した。  |
| 大阪工場  | 2018年3月19日  | 1,097      | 地震発生により、高圧ガスが漏えいし火災が発生したことを想定した消火訓練を摂津市消防本部と合同で実施した。 |
| 滋賀工場  | 2017年11月22日 | 395        | 地震発生により、倉庫火災が発生したことを想定した消火訓練を実施した。                   |
| 鹿島工場  | 2017年10月18日 | 216        | 地震発生により、危険物が漏えいし火災が発生したことを想定した消火訓練を実施した。             |



製品責任

カネカおよびグループ会社の ISO9001 認証取得状況

| 事業部門・グループ会社<br>(SV : Solutions Vehicle)                              | 主な製品   | 認証機関／登録番号                       |
|--|--|---------------------------------|
| Vinyls and Chlor-Alkali SV   | 苛性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、液化塩素、塩化ビニルモノマー、塩化ビニル樹脂、塩化ビニルペースト樹脂、耐熱塩化ビニル樹脂、OXY（オキシ）触媒  | JCQA / JCQA-1263                |
| Performance Polymers SV  | 樹脂改質材（カネエース、カネカテルアロイ）、変成シリコンポリマー（カネカ MS ポリマー）、粘・接着剤ベースポリマー（サイリル）、耐候性 MMA 系フィルム（サンデュレン）、イソブチレン系熱可塑性エラストマー（SIBSTAR）、末端反応型液状アクリル樹脂（KANEKA XMAP）、テレケリックポリアクリレート（カネカ TA ポリマー） | LRQA / YKA0927477               |
| Foam & Residential Techs SV<br>北海道カネライト（株）<br>九州カネライト（株）             | ビーズ法発泡ポリオレフィン樹脂および成形品（エペラン、エペラン-PP）、ビーズ法発泡ポリスチレン樹脂（カネパール）、押出發泡ポリスチレンボード（カネライト）   | JCQA / JCQA-0673                |
| E & I Technology SV  | 超耐熱ポリアミドフィルム（アピカル、ピクシオ）、高精度光学フィルム（エルメック）、複合磁性材料（カネカフラックス）、積層断熱材、電力ケーブル保護管、超高熱伝導グラファイトシート（グラフィニティ）、熱伝導性エラストマー、フレキシブルカバーコートインク   | LRQA / YKA0935762               |
|  | 高耐熱・高耐光性樹脂および成形品   | DNV / 01635-2006-AQ-KOB-RvA/JAB |
| PV & Energy management SV<br>カネカソーラーテック（株）<br>カネカソーラー販売（株）           | 太陽電池   | JQA / JQA-QMA13200              |
| Foods & Agris SV<br>高砂工業所 食品部<br>（株）カネカフード<br>（株）東京カネカフード<br>長島食品（株） | マーガリン、ショートニング、食用油脂、食用精製加工油脂、ホイップクリーム、濃縮乳、調整乳、発酵乳、フラワーペースト、バタークリーム、チョコレート、冷凍生地、チーズ、マヨネーズ、調理フィリング、調理済加工食品、イースト、不凍タンパク質、不凍多糖、調味素材   | JQA / JQA-QMA10274              |
| カネカ食品（株）<br>（株）エヌ・ジェイ・エフ   | 加工食品およびその原材料の仕入、設計、販売、技術サービスおよび品質保証、食品加工等機械の販売<br>委託加工先の生産指示   |                                 |
| OLED 事業開発プロジェクト  | 有機 EL 照明   | JMAQA / JMAQA-2532              |

|                        |   |                               |
|------------------------|---|-------------------------------|
| OLED 青森 (株)            |   |                               |
| 昭和化成工業 (株)             | プラスチック・コンパウンド   | ASR / Q0556                   |
| 龍田化学 (株)               | プラスチックフィルム、プラスチックシート  | BVJ / 3882662                 |
| サンビック (株)              | 合成樹脂シート・フィルム  | JMAQA / JMAQA-1824            |
| 東武化学 (株)               | プラスチック壁紙、塩化ビニル樹脂壁紙  | LRQA / YKA0958154             |
| セメダイン (株)              | 一般用・工業用接着剤、シーリング材ならびに特殊塗料の開発と製造   | JCQA / JCQA-0386              |
| カネカ北海道スチロール (株)        | 土木・建築用発泡スチロール成形品  | LRQA / YKA4002793/J           |
| 関東スチレン (株)             | 発泡スチロール成形品  | JACO / QC03J0233              |
| カネカフォームプラスチック (株) 真岡工場 | 発泡ポリオレフィン成形品の製造   | ASR / Q1919                   |
| カネカフォームプラスチック (株) 九州工場 | 発泡ポリオレフィン成形品の製造   | JACO / QC17J0033              |
| (株) ヴィーネックス            | エレクトロニクス部品  | JSA / JSAQ2593                |
| 新化食品 (株)               | 製パン・製菓用改良剤、フルーツ加工品、委託品 (マーガリン、調味用フィリング、調整乳)                                   | JQA / JQA-QMA15323            |
| 太陽油脂 (株)               | マーガリン類、ショートニング、食用精製加工油脂、食用植物油脂、精製ラード、その他の食用油脂、油脂加工品、乳製品、食品添加物                 | JQA / JQA-QMA14671            |
| (株) カネカサンスパイス          | 香辛料およびその二次加工品   | JQA / JQA-QMA11351            |
| 栃木カネカ (株)              | 複合磁性材料 (カネカフラックス)、積層断熱材、電カケーブル保護管、超高熱伝導グラファイトシート (グラフィニティ)、太陽電池アッセンブリー        | LRQA / YKA0958035             |
| カネカベルギー-N.V.           | 樹脂改質材 (カネエース)、ビーズ法発泡ポリオレフィン (エペラン、エペラン-PP)、変成シリコンポリマー (カネカ MS ポリマー)、アクリルゾル    | AIB-VINCOTTE / BE-91 QMS 028h |
| カネカノースアメリカ LLC         | 超耐熱ポリアミドフィルム (アピカル)、樹脂改質材 (カネエース、カネカテルアロイ)、耐熱塩化ビニル樹脂、変成シリコンポリマー (カネカ MS ポリマー) | BSI / FM72722                 |
| カネカマレーシア Sdn.Bhd.      | 樹脂改質材 (カネエース)   | SIRIM QAS / AR2321            |
| カネカアピカルマレーシア Sdn.Bhd.  | 超耐熱ポリアミドフィルム (アピカル)   | SIRIM QAS / AR6269            |
|                        | 超高熱伝導グラファイトシート (グラフィニティ)  | SIRIM QAS / AR6270            |
| カネカエペラン Sdn.Bhd.       | ビーズ法発泡ポリオレフィン (エペラン、エペラン-PP)  | SIRIM QAS / AR2598            |
| カネカペーストポリマー Sdn.Bhd.   | 塩化ビニルペースト樹脂   | SIRIM QAS / AR2321            |
| 鐘化 (蘇州) 緩衝材料有限公司       | ビーズ法発泡ポリオレフィン (エペラン、エペラン-PP)  | SGS / CN18/20031              |

|                              |                             |  |
|------------------------------|-----------------------------|--|
| 鐘化（佛山）高性能材料<br>有限公司          | ビーズ法発泡ポリオレフィン（エペラン、エペラン-PP） | Beijing East<br>Allreach certification<br>Center Co., Ltd. /<br>USA16Q27833R0S |
| カネカイノベティブファイバー<br>ズ Sdn.Bhd. | 合成繊維                        | SIRIM QAS /<br>AR2321  |
| カネカサンスパイス・ベトナム<br>Co., Ltd.  | スパイス、ハーブ、乾燥野菜の加工            | Intertek(UK) /<br>FM541299   |
| カネカユーロジェンテック S.A.            | ライフサイエンス研究開発向け試薬およびサービス     | BSI / FS 638601  |

#### カネカおよびグループ会社の ISO13485（※1）認証取得状況

| 事業部門・グループ会社<br>(SV : Solutions<br>Vehicle) | 主な製品                           | 認証機関／登録番号                        |
|--|--------------------------------|----------------------------------|
| Medical Devices SV<br>(株) カネカメディックス        | リクセル、リボソーバー、カテーテル、シラスコン、ED コイル | TÜV SÜD / Q5 17<br>04 24736 065  |
| カネカファーマベトナム Co.,<br>Ltd.                   | カテーテル（部品）                      |                                  |
| (株) リバーセイコー                                | 内視鏡（用）処置具                      | TÜV SÜD / Q1N 16<br>05 84323 006 |
| カネカユーロジェンテック S.A.                          | 体外診断用オリゴヌクレオチド                 | BSI / MD 638600                  |

※1 ISO13485：医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格。

#### カネカおよびグループ会社の ISO22000（※2）認証取得状況

| 製造部署・グループ会社      | 主な製品                       | 認証機関／登録番号              |
|------------------|----------------------------|------------------------|
| 高砂工業所 医薬品製造<br>部 | コエンザイム Q10（カネカ Q10、カネカ QH） | SGS / JP10 /<br>030379 |
| (株) カネカサンスパイス    | 香辛料および香辛料を使った二次加工製品        | JQA / JQA-FS0123       |

※2 ISO22000：食品安全マネジメントシステムの国際規格。

カネカおよびグループ会社の FSSC22000（※3）認証取得状況

| 事業部門・グループ会社<br>(SV : Solutions Vehicle) | 主な製品   | 認証機関／登録番号          |
|---|--|--------------------|
| Foods & Agris SV                        | マーガリン、ショートニング、フラワーペースト、バタークリーム、食用油脂、食用精製加工油脂、濃縮乳、調整乳、チーズ、ホイップクリーム、イースト、発酵乳、不凍タンパク質、不凍多糖、調味素材 | JQA / JQA-FC0047   |
| 高砂工業所 食品部                               | マーガリン、ショートニング、食用油脂、食用精製加工油脂、ホイップクリーム、濃縮乳、調整乳、イースト  | JQA / JQA-FC0047-1 |
| (株) カネカフード                              | マーガリン、フラワーペースト、バタークリーム、チーズ、発酵乳、不凍タンパク質、不凍多糖、調味素材   | JQA / JQA-FC0047-2 |
| (株) 東京カネカフード                            | マーガリン、ショートニング、フラワーペースト、バタークリーム、ホイップクリーム  | JQA / JQA-FC0047-3 |
| 太陽油脂 (株)                                | マーガリン類、ショートニング、食用精製加工油脂、食用植物油脂、精製ラード、その他の食用油脂、油脂加工品、乳製品 (バター)                                | JQA / JQA-FC0044   |
| 長島食品 (株)                                | 冷凍生地 (パイ、菓子)   | JQA / JQA-FC109    |

※3 FSSC22000 : ISO22000 に ISO/TS22002-1 要求事項を加えた食品安全マネジメントシステムのセクター規格。

グループ会社の ISO22716（※4）認証取得状況

| グループ会社   | 主な製品                     | 認証機関／登録番号     |
|----------|--------------------------|---------------|
| 太陽油脂 (株) | シャンプー、リンス、ボディソープ、ハンドクリーム | BVJ / 3889080 |

※4 ISO22716 : 化粧品 GMP (優良製造規範)。

## 働きがい・多様性

※対象範囲は、カネカのみとなります。範囲が異なるデータについては、注釈を明記しています。

### ■ 人権教育について

| プログラム名   | 内容                        | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 |
|----------|---------------------------|---------|---------|---------|
| 新入社員導入研修 | セクハラ、パワハラ、国籍差別等の問題についての説明 | 132 名   | 148 名   | 137 名   |
| 新任幹部職研修  | 外部専門家による人権教育              | 45 名    | 45 名    | 46 名    |

### ■ キャリア・ライフ開発支援の実施状況

| プログラム名     | 2015 年度      | 2016 年度      | 2017 年度    |
|------------|--------------|--------------|------------|
| キャリアデザイン研修 | 301 名        | 230 名        | 382 名      |
| ライフデザイン研修  | 18 回 (255 名) | 15 回 (172 名) | 7 回 (63 名) |

### ■ グローバル人材育成

| プログラム名         | 内容                      | 2015 年度          | 2016 年度          | 2017 年度          |
|----------------|-------------------------|------------------|------------------|------------------|
| グローバル人材育成プログラム | 実践的な外国語でのコミュニケーション能力の習得 | (登録者)<br>2,122 名 | (登録者)<br>2,021 名 | (登録者)<br>2,215 名 |
| 英語・中国語研修       | 海外ビジネスに必要な語学の習得         | 121 名            | 89 名             | 55 名             |
| 海外トレーニー派遣制度    | 海外グループ会社での 1 年間の実務経験    | 15 名             | 17 名             | 12 名             |

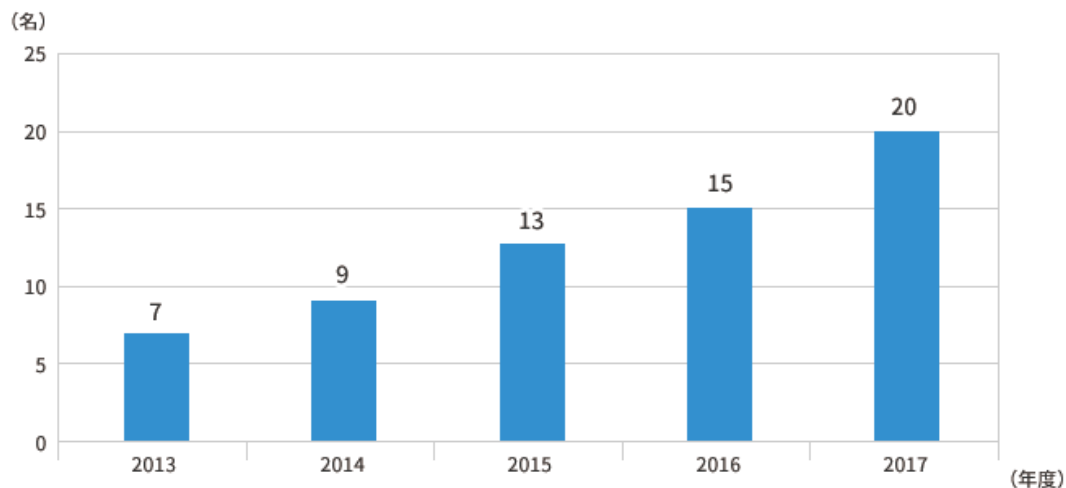
その他に、語学留学制度や赴任前語学研修などのプログラムを導入しています。

### ■ リーダー育成

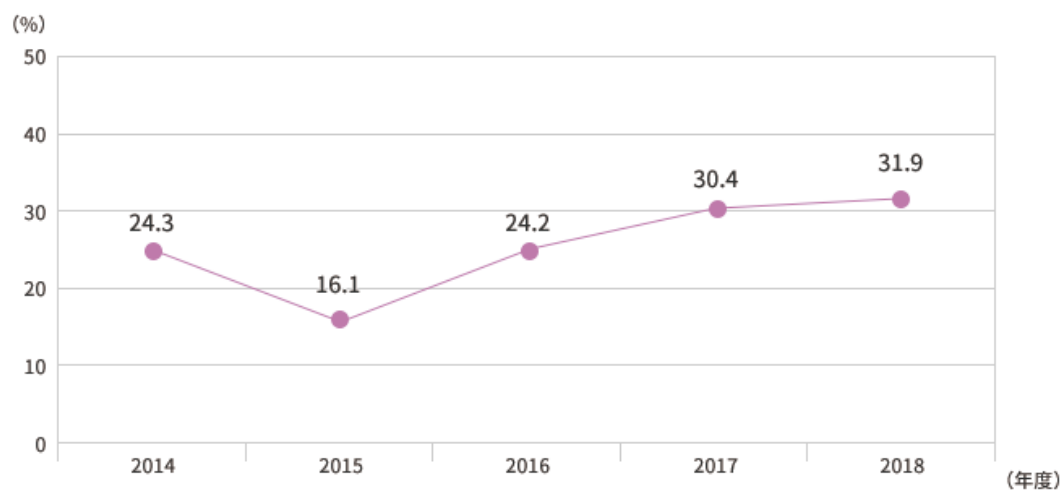
| プログラム名                            | 内容  | 2015 年度    | 2016 年度    | 2017 年度    |
|-----------------------------------|---|------------|------------|------------|
| 一粒の種モミ塾                           | 次期リーダー・経営人材を対象とした、経営トップおよび一流講師陣による講義と演習       | —          | 13 名       | 12 名       |
| Kaneka Creative Corner            | ナショナルスタッフの次期リーダー層を対象とした、経営トップおよび一流講師陣による講義と演習 | —          | 10 名       | 12 名       |
| The Leadership Challenge Workshop | リーダーシップスキルの習得と実践、およびそのフォローアップ                 | (海外) 112 名 | (海外) 102 名 | (海外) 24 名  |
|                                   |   | (国内) 158 名 | (国内) 197 名 | (国内) 236 名 |

※集計範囲は、カネカ・国内外グループ会社です。

■ 女性幹部職人数の推移



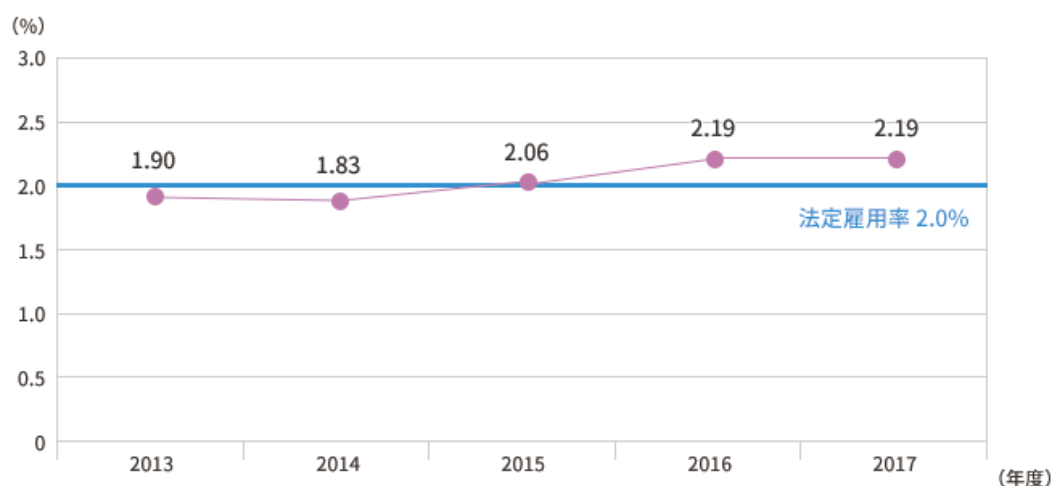
■ 女性採用比率



■ 外国籍社員の採用数の推移 (新卒社員)

| 入社年度 | 技術系 | 事務系 | 合計 |
|------|-----|-----|----|
| 2014 | 4名  | 2名  | 6名 |
| 2015 | 2名  | 2名  | 4名 |
| 2016 | 5名  | 2名  | 7名 |
| 2017 | 3名  | 1名  | 4名 |
| 2018 | 0名  | 1名  | 1名 |

## ■ 障がい者雇用の推移



## ■ 関連制度利用者数

| 制度名        | 適用期間および内容   | 2015 年度 | 2016 年度 | 2017 年度 |
|------------|---|---------|---------|---------|
| 育児休業休職     | 子が 2 歳 6 か月になるまで  | 男性 2 名  | 男性 3 名  | 男性 2 名  |
|            |   | 女性 42 名 | 女性 37 名 | 女性 44 名 |
| 子の看護休暇     | 子が小学校 4 年生の始期に達するまで<br>(年間 5 日/人、子が 2 人以上の場合最大 10 日/年)  | 男性 33 名 | 男性 46 名 | 男性 60 名 |
|            |   | 女性 55 名 | 女性 60 名 | 女性 62 名 |
| 短時間勤務      | 子が中学校 1 年生の始期に達するまで<br>(最大 2 時間/日)                      | 男性 1 名  | 男性 1 名  | 男性 0 名  |
|            |   | 女性 50 名 | 女性 41 名 | 女性 48 名 |
| 託児費用補助金    | 0～2 歳の子どもの託児にかかる費用の一部を会社が補助する                           | 22 名    | 29 名    | 26 名    |
| 介護休業休職     | 対象家族 1 人につき通算 1 年以内                                     | 1 名     | 1 名     | 2 名     |
| 在宅勤務       | 妊娠中・育児中（子が中学校 1 年生の始期に達するまで）・介護中の社員が自宅で勤務できる<br>(4 日/月) | 8 名     | 18 名    | 21 名    |
| 配偶者海外転勤時休職 | 配偶者の海外転勤に帯同する社員が休職になった日から最大 3 年間                        | 1 名     | 1 名     | 1 名     |

以上